
仮面ライダー 外伝 ～誕生の秘密～

零

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダー 外伝 ー 誕生の秘密 ー

【Nコード】

N5194W

【作者名】

零

【あらすじ】

誕生の秘密。一つの物語には必ず真実がある。例えば、この人は何で仮面ライダーになったのか？

1・事件の始まり（前書き）

どうも、零です。

今日からオリジナルの仮面ライダーを中心にしたストーリーを投稿していこうと思います！

1・事件の始まり

零「これから話すのは俺たちフリーダムが結成された当時に起きた事件・・・あれは1年前、つまり俺たちが高1の頃だ」

・・・・・・1年前・・・・・・

零「やっと3時間目終わった」

零は席から立ち上がり背伸びをした

ステルス「零、テスト何点だった？」

ステルスが零に話しかける

零「教えるわけねえだろ、あつ！嘉羅弥なら教えてくれるんじゃない？」

ステルスは嘉羅弥の座る席に行った

ステルス「嘉羅弥、テスト何点だった？」

嘉羅弥「87点」

ステルス「な、何だって！？負けた」

ステルスの後ろから零が来る

零「当たり前だろ、クラス内での順位5位だぞ」

嘉羅弥「零、何点だった？」

零「さつきステルスにも言っただけ今回は点数教えねえから」

零が嘉羅弥にそう言ったと同時にチャイムがなった

零「4時間目始まるから席につけ、ステルス」

自分の席に戻る零、そしてステルスも席に戻ろうとする……………
そのとき……………ドガーン！謎の爆発音が校内に響く……………
……………これが事件の始まりだった

1・事件の始まり（後書き）

〈キャラクター説明〉

零^{レイ}：高校に通う1年生。授業中はたまに寝ている。

嘉羅弥^{からや}：高校に通う1年生。凄くとまではいかないが頭がいい。

ステルス：高校に通う1年生。この時はまだ透明になる能力は持っていない。

〈用語説明〉

フリーダム：自由を求める集団。

2・謎の人物

ドガーン！謎の爆発音が校内に響いた

零「な、何の音だ！？」

零はテニスコートから煙があがっていたことに気付く

零「（煙？まさかテニスコートが爆発したのか！）ん？」

また一つのこと気付く

零「（人？何であんな危ない所に人が？？）」

零がみた、テニスコートには人が一人立っていた・・・だがすぐに姿が消える

零「（消えた！？）」

ステルスの方をみる零

零「（そうだ、ステルスに手伝ってもらおう）」

そして零は席を立ち、ステルスの立っている場所まで動く
何故ステルスが立っているのかというと、席に座ろうとした調度爆発が起こったからだ

ステルス「ん？おっ、どうした・・・零??」

零「すまないステルス、気絶したふりをしてくれ！」

ステルスの腹に零の拳がはいる、つまり零はステルスに『腹パン』をした

ステルス「ぐはっ」

ステルスはその場に倒れこむ

零「おいステルス大丈夫か！委員長、ステルスが今の音に驚いて気絶したらしいので俺と嘉羅弥でステルスを保健室に連れてきます・・
・先生には保健室に行ったと言っておいてください」

零は嘉羅弥と一緒に気絶したステルスを運んで教室を出た

零「ふん、上手くいったな」

ステルス「上手くいったなじゃねえよ！」

零「おつ、起きたかステルス・・殴って悪かったな」

ステルス「悪いどころじゃないわ、俺も一発殴らせる！」

ステルスが零を殴ろうとしたが嘉羅弥が止めに入った

嘉羅弥「ステルス、喧嘩はやめろ・・それで何かあったのか零」

零「ああ、実は爆発したテニスコートの方に人が立っていたんだ」

嘉羅弥「人が？」

零「普通爆発したところに人はいない・・だがそいつは立っていた・・何事も無かったかのように」

？ ？ ？「そしてそいつは姿を消したんだろ」

零たちのところに他クラスの生徒が二人やってきた

零「アンタらは？」

N「俺はE組のNだ」

がつし「同じくE組のがつしだよ」

零「俺はG組の零」

嘉羅弥「嘉羅弥だ」

ステルス「零と同じ組のステルス」

お互い自己紹介が終わると話が戻る

零「それでN達はどうして廊下にな？」

N「零達も俺と同じ考えで廊下に出たんじゃないのか？」

零「つてことはやっぱり気になるよね・・・何であんな所に人が立っていたのか」

N「ああ、もの凄く気になるな」

ステルス「気になるのはいいけどさ、どうする？何か武器でも調達するか??」

嘉羅弥「そうだな、何かあったら困るしね」

ステルスと嘉羅弥が言うと零が

零「じゃあ15分後、新校舎側の1階の男子トイレに集合だ」

5人は武器の調達に動く

2・謎の人物（後書き）

〈キャラクター説明〉

N：高校に通う1年生。中学時代は陸上部に所属していて足がはやい。

がつしー：高校に通う1年生。部活を3つも掛持ちしている。

3・武器調達 √ 嘉羅弥

今、新校舎側の1階に嘉羅弥は武器の調達に来ていた

嘉羅弥「武器の調達ねえ……てか学校に武器なんてあるのか？凶器になる武器があるのか？ってあるか……家庭科室に包丁が」

嘉羅弥は暫く1階にある保健室への通路を歩いた……そのとき！

？ ？ ？「誰か助けて」

嘉羅弥「ん！？誰かの声？」

？ ？ ？「助けて！」

次の瞬間、嘉羅弥の前に小さな光が現れる

嘉羅弥「な、何だ！？」

その光は図書室のある方向に向かって行く

嘉羅弥「おい、待てよ！」

光は図書室の中へ入って行き、嘉羅弥も図書室へと入る

嘉羅弥「失礼します……誰かいますか？って今は授業中だし誰もいないか……ん？」

図書室は暗い……だが図書室の中で一つだけ別とは違う本を嘉羅弥は見つけた……1冊の本が光っていたのだ

嘉羅弥「本が光っている・・・しかも見たことない文字だ」

嘉羅弥は興味本位で本を開いた

嘉羅弥「やはり見た事のない文字だ・・・この本じゃ武器にはならないな」

？ ？ 「それはどうかな？」

嘉羅弥「（さっきの声！）誰だ！」

そのとき、本から侍が現れた

嘉羅弥「うわっ！」

それに驚き、嘉羅弥は後ろに倒れこむ

シエン「我が名はシエン、この本を護る番人だ」

嘉羅弥「お前が俺を呼んだのか？」

シエン「そうだ・・・お前は今起こっている危機に対し武器を欲しているな・・・なら私と契約しろ・・・そうすれば武器をくれる」

嘉羅弥「契約って何をしたら良いんだ！」

シエンは少し黙り・・・こう言った

シエン「私の攻撃を3分間耐えれば契約完了だ・・・だが耐えられなければ死ぬ」

嘉羅弥「死ぬ・・・フツ、上等じゃねえか・・・やってやる」

シエン「よい心掛けだ」

シエンは腰から刀を取り出す

シエン「でわ参るぞ！」

そして嘉羅弥はシエンとの契約のために3分間図書室の中を逃げ続けた

3・武器調達 √ 嘉羅弥（後書き）

｝キャラクター説明｝

シエン：嘉羅弥が見つけた本の番人（精霊）。

4・武器調達 √ がっしー

理科室、がっしーが武器調達に来ていた

がっしー「どこにあるかな？・・・あ、みつけた」

棚の中から一本のペンを取り出した

がっしー「前に先生が使ってたところ見ちゃったんだよね」

がっしーはペンを使って空気中に鳩を描いた瞬間！驚くことに鳩が絵から実体化した！！

がっしー「このペン、武器として使えるな」

・・・それから数分・・・

がっしー「よしっ！そろそろ皆と合流するか？」

？ ？ 「見せてもらったよ、君が持っているペンの力」

理科室を出ようとしたとき、黒い服装の男が理科室の扉前で立っていた

がっしー「アンタ誰？」

オリオン「俺は七星座の一人、オリオンだ」

がっしー「七星座？まさかお前がテニスコートを破壊したのか！」

オリオン「俺ではないが、計画通り進んでいるのなら騎士団が破壊した」

がっしー「それで目的は何だ？金か？」

がっしーの質問に対してオリオンはポケットから小さなスイッチを取り出した

オリオン「その質問に答える気はない・・・そして」

オリオンはスイッチのボタンを押し、ゾディアーツに変身

オリオン・ゾディアーツ「お前にはここで死んでもらう」

オリオン・ゾディアーツは巨大棍棒^{レムノス}をがっしーに向けた

4・武器調達 √ がっしー（後書き）

〈キャラクター説明〉

オリオン：七星座の一人でオリオン座に選ばれし者。

オリオン・ゾディアーツ：「オリオン」のゾディアーツスイッチの力でオリオンが変身するゾディアーツ。屈強な赤い甲冑を纏い、腹部に3つ、両肩、左膝と右足先とオリオン座の星に当たる部分に青白いコアがあるのが特徴。武器は巨大棍棒と大盾。
レムノス キオス

〈用語説明〉

七星座^{しちせいざ}：星座とスイッチに選ばれた七人の集団。

ゾディアーツ^{スイッチャー}：人間がゾディアーツスイッチの力によって、物質化したコズミックエナジーによるエネルギー体を纏って変身した怪人^{ニョークリーチャー}。各自星座の力を宿し、怪人体の各所にコアが星座の形に配置され、変身時に発光する。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5194w/>

仮面ライダー 外伝 ～誕生の秘密～

2011年12月21日17時52分発行